

# 県内中小企業(製造業)景況動向

平成28年1月～3月期

業種による差異はあるものの、未だ回復の兆しは窺えず

本会調査結果概要



## 業種別景況動向

### 食料品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲20.9	▲7.1	▲18.7	▲17.1

前年同期比の売上高DIは▲13.1、収益性DIは▲24.3で、両方を合わせたDI平均値は▲18.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは1.6ポイント上昇して▲17.1となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲42.1、収益性DIは▲32.4となった。

また、雇用人員判断DIは15.1、設備操業率DIは▲15.1、設備投資実施率は27.8%となった。

### 繊維・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲30.0	8.0	12.5	▲8.3

前年同期比の売上高DIは20.8、収益性DIは4.1で、両方を合わせたDI平均値は12.5となり「薄日」模様になっている。来期見通しは20.8ポイント下降して▲8.3となり「小雨」模様になる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲4.2、収益性DIは▲5.3となった。

また、雇用人員判断DIは36.8、設備操業率DIは▲17.6、設備投資実施率は20.8%となった。



## 概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(前年同期比)については▲20.6となり、前回調査(27年10-12月期)の▲14.9から5.7ポイント下降している。来期見通しにおいては、2.3ポイント上昇して▲18.3となっている。

売上高DI(前年同期比)については▲21.4となり、前回調査から9.8ポイント下降している。来期見通しにおいては▲16.9となっている。

収益性DI(前年同期比)については▲19.7となり、前回調査

から1.5ポイント下降している。来期見通しにおいては今回調査と同じく▲19.7となっている。

業況DI(前年同期比)については▲15.7となり、前回調査から0.7ポイント下降している。来期見通しにおいては▲17.7となっている。

原材料価格DI(前期比)については9.1となり、前回調査から3.1ポイント下降している。

販売価格DI(前期比)については▲4.9となり、前回調査から1.1ポイント下降している。

資金繰りDI(前期比)については▲14.2となり、前回調査から3.7ポイント下降している。

金融機関の態度DI(前期比)

については2.3となり、前回調査から1.4ポイント上昇し緩和している。

設備投資実施率については30.6%となり、前回調査より7.6ポイント上昇している。業種別でも高い実施率となったのは、プラスチック製品「の85.7%で、目的別では、「品質向上」が23.5%でトップとなった。また、設備投資計画率については32.2%となった。

設備操業率DI(前期比)については▲19.7となり、前回調査から18.2ポイント下降している。

雇用人員判断DI(前期比)については8.6となり、前回調査から3.2ポイント上昇している。

### 紙・加工品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲39.9	3.1	▲35.3	▲14.7
<p>前年同期比の売上高D Iは▲41.1、収益性D Iは▲29.4で、両方を合わせたD I平均値は▲35.3となり「雨」模様になっている。来期見通しは20.6ポイント上昇して▲14.7となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲17.7、収益性D Iは▲23.6となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲11.8、設備操業率D Iは▲17.7、設備投資実施率は17.6%となった。</p>			

### 木材・木製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲40.0	▲31.9	▲22.2	▲11.1
<p>前年同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲22.2で、両方を合わせたD I平均値は▲22.2となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは11.1ポイント上昇して▲11.1となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iは▲44.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」ともに11.1%で0.0、設備操業率D Iは▲11.1、設備投資実施率は22.2%となった。</p>			

### 金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲6.2	▲27.8	▲19.2	▲20.7
<p>前年同期比の売上高D Iは▲14.8、収益性D Iは▲23.6で、両方を合わせたD I平均値は▲19.2となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは1.5ポイント下降して▲20.7となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲23.6、収益性D Iは▲29.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲12.5、設備操業率D Iは▲12.5、設備投資実施率は32.4%となった。</p>			

### 窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲30.6	▲39.8	▲47.7	▲36.4
<p>前年同期比の売上高D Iは▲58.1、収益性D Iは▲37.2で、両方を合わせたD I平均値は▲47.7となり「雨」模様が続いている。来期見通しは11.3ポイント上昇して▲36.4となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲58.2、収益性D Iは▲56.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは5.0、設備操業率D Iは▲46.2、設備投資実施率は30.2%となった。</p>			

### プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲16.6	▲30.0	▲7.2	7.2
<p>前年同期比の売上高D Iは▲14.3、収益性D Iは「好転」、「悪化」とも14.3%で0.0、両方を合わせたD I平均値は▲7.2となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは14.4ポイント上昇して7.2となり「曇」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲14.3、収益性D Iは14.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは14.3、設備操業率D Iは▲28.6、設備投資実施率は85.7%となった。</p>			

### 機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲11.6	▲4.3	▲12.5	▲13.5
<p>前年同期比の売上高D Iは▲15.4、収益性D Iは▲9.6で、両方を合わせたD I平均値は▲12.5となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは1.0ポイント下降して▲13.5となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲15.4、収益性D Iは▲16.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは14.6、設備操業率D Iは▲6.4、設備投資実施率は34.6%となった。</p>			